



伊藤町長の逝去を悼む

地方自治に残した功績は大

徳地町長、故伊藤三樹三氏は、県立中央病院に入院加療中のこと併をもつて、徳地町が誕生、同年内各附から押されて、初代町長、日夜町分の仙履と町民の福祉増進教育の機会均等農業の振興等に貢献されました。

故町長伊藤三樹三氏逝去の旨は、公報し、故人に寄せられた町内その間往復五〇キロにおよぶ毎日の自動車通勤にも、かくしゃくなる元気をみておられました。が、しばらくのうちに、身体にこだえていたのか、昨年七月ふとしたかせが原因となり、それより健康がすぐれず、九月十九日

予算総額一億九千五百万円

町民税四〇〇万円減税などきまる

昭和三十五年冬末納め町議会は、中央公報部で開かれた。

この日金議員が出席し、よりは長嶽助役以下各委員が出席した。これは、町議員の給与に関する条例で、町執行部は、この議案を審議して決議を以て審議を終えた。

この条例は、町議員の給与を年四〇〇万円減税などきまる

する条例についてこの改正は、從來の教育長給与を改め、昭和三十五年度にかかる程度の申をさせ、改正のとおりである。

この改正は、従来の教育長給与を改め、昭和三十五年度にかかる程度の申をさせ、改正のとおりである。

この改正は、従来の教育長給与を改め、昭和三十五年度にかかる程度の申をさせ、改正のとおりである。

この改正は、従来の教育長給与を改め、昭和三十五年度にかかる程度の申をさせ、改正のとおりである。

この改正は、従来の教育長給与を改め、昭和三十五年度にかかる程度の申をさせ、改正のとおりである。

決議

今回町民税の減税を実施し、貢の減税をはかるに當り、私共は

徳地町議会

徳地町役場
地村統行者
河今澄印刷所

火の用心



式初出についてを風景

九五名	八坂地区
七六名	島地地区
五九名	半地区
一四名	柏野地区
二九名	合計
二七三名	

内訳は男、一二六名、女、三四名となっています。



心あたたまる話

学校の教員先生は、受持学級の体の不自由な生徒、K少年の遠足の時など、終りまでこの少年を背負って、四〇キロの外の児童と行動になりました。

この年、K少年は、まことに、山間へまでは、同姓の保護者の方より感謝されています。

また、大雪の時など少年を背負って、四〇キロの外の児童と行動になりました。

この年、K少年は、まことに、山間へまでは、同姓の保護者の方より感謝されています。

△急告△

2月11日(土曜)は休務いたしました。来る2月11日は故伊藤三樹三氏の町葬執行の関係で本庁および各支所とも休務いたしました。

徳地町長伊藤三樹三儀予て県立中央病院に入院加療中の処薬石効なく一月二十九日前十時四十五分逝去致しました。茲に謹んで生前の御厚誼を深謝し町長逝去の御通知を申し上げます。追而葬儀は町葬をもつて仏式により左のとおり執行いたします。

②

表現能力を養い

体の調子を整えておく

「はえ、立て、立
よ。」

「は歩めの親心」
「わが子に対する
親の愛情はまこと
にこまやかです。」

「はえ立て、立
よ。」

「は歩めの親心」
「わが子に対する
親の愛情はまこと
にこまやかです。」

「は歩めの親心」
「わが子に対する
親の愛情はまこと
にこまやかです。」